

県立高等学校の介護福祉科の存続について

日頃から福祉教育、福祉人材の育成に御尽力いただき、感謝申し上げます。

さて、先に公表されました「第三期県立高等学校再編基本計画」（以下「再編計画」という。）におきまして、真岡北陵高校と真岡工業高校を統合し真岡北陵高校の介護福祉科の募集を令和 8 年度から停止する案とともに同年度から益子芳星高校に福祉コースを導入する案が示されました。

これまで真岡北陵高校介護福祉科の卒業生は、芳賀地区のみならず県内の広範囲の介護施設において活躍され、深刻な介護人材不足の中、介護福祉士として貴重な担い手となっています。

真岡北陵高校の介護福祉科で3年間の教科目を修め介護福祉士国家試験に合格すれば介護福祉士の資格を取得できるのに対し、再編計画で示された益子芳星高校の福祉コースでは3年間教科目を修めても、受験資格を得るにはさらに3年の介護等の業務に従事し実務者研修を修了する必要があります。

今般の再編計画が生徒数の減少や学習ニーズの多様化などを踏まえたものであることは承知しておりますが、真岡北陵高校介護福祉科は高校で福祉を学び介護福祉士国家試験受験資格を得ることができる県央地域で唯一の学科です。

深刻な介護人材不足の中、真岡北陵高校介護福祉科が存続されることが最も望ましいところでありますが、再編計画の中で同校の募集停止の方針が動かし難いものであるならば、益子芳星高校の福祉コースについて介護福祉士国家試験受験資格を得ることができる介護福祉科として整備することを要望するものであります。

令和 5 年 9 月 12 日

栃木県教育委員会教育長 阿久沢 真理 様

一般社団法人
栃木県老人福祉施設協議会
会 長 大 山 知 子